

夢 (ゆめ)

文責 校長 池田 新

－ 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 －

1 令和2年度の新生徒会本部役員・専門委員長の任命式を行いました

川登中学校の新生徒会役員を紹介します。

【会 長】 東島史夏

【副会長】 山口葉月

【議 長】 石橋ここみ

【書 記】 中尾拓稜

【広 報】 西之川冬吾 山口真央

＜総務委員会＞ 【委員長】 中野真太郎

＜生活委員会＞ 【委員長】 八坂菜月

＜保体委員会＞ 【委員長】 川浪明美

＜文化委員会＞ 【委員長】 庭木秀成



任命書を手渡す際に各役員の立場で活躍してほしい内容を伝えました。その後、新生徒会を担う心構えとして「リーダーシップを発揮したい」「いろいろな意見や要望を聞き入れて進めたい」「川中生が一つにまとまるように努めたい」「より良い川中にしたい」「情報の提供や共有を図りたい」「責任感を重視したい」「方針を絶対に達成したい」「より良い心を重視したい」「理想的な学習環境をつくりたい」「元気で活気ある川中生をめざしたい」と力強く紹介する姿はとてもたくましく、より良い川中に向けて日々前進する川中生徒会になると期待感を抱きました。

東島生徒会長から新生徒会スローガン

【川中PRIDE～善力・前力・全力～】

の発表があり、

「善力」とは、生徒全員で川中を善く(改善)していくこと**「前力」とは、ミスを恐れず、何事も前向きに取り組むこと****「全力」とは、一人一人、与えられた役割を全力でやり遂げること**

と、具体的な説明がありました。取組の視点として川中生の良い所「あいさつ、無言掃除、やり遂げる意思、仲間意識」は更に高めて確立したいこと、改善を要する点「悪口、提出物、居眠り、部活動開始時間、校歌斉唱の声」は具体的な取組策を工夫改善することで、**先輩方の意志を受け継ぎ更に前進できるように全力を尽くしたい！**と所信表明演説がありました。その実現に向けた各委員会の方針を各委員長から、



総務委員会では、「生徒会あいことば」を意識した学校生活にする。
生活委員会では、落ち着いた学校生活の環境をつくる。
文化委員会では、授業や学習を集中して取り組み学力向上をめざす。
保体委員会では、健康を考えて全力で運動に取り組める学校づくり。
と発表があり、川中生全員で取り組みたいと協力要請がありました。
校長として、次の期待感を話しました。

- ① 自治活動である生徒会活動では、自らの生活を自らの努力でより良くする意識が必要である。
- ② 実現には、具体的な取組と良き伝統の「継承」が重要である。
昨年度は「立ち止まってあいさつ」により礼儀正しさが向上した。
今年度は「無言掃除」により落ち着いた学校生活が向上した。
- ③ 公約の実現に向けた「具体的な方策の発想」と「日々の実践」を大切にして、進化し続ける川登中学校生徒会となることを期待する。
- ④ 川中生全員が、生徒会活動に「協力」して「実行」することで、より良い川登中学校を築いてほしい。

新生徒会でも進化し続ける生徒会に向け、具体的方策を練る・準備を充実させる・川中生全員で一生懸命に取り組むことで、「一人一人の個性を活かした 笑顔と優しさあふれる学校」を実現すると信じています。

2 仕事でも人生でも重要な「か・き・く・け・こ」とは

デザイナーのコシノジュンコ氏の講演で感動を得た話を紹介します。

「か」は【感謝】、「き」は【希望】、「く」は【くよくよしない】、
「け」は【健康】、「こ」は【行動】。

この世に「命」を得て生まれてきたのであれば「満足する人生」を送ることが重要であり必要であると考えています。「満足する人生」とは？には多種多様な意見や思いがあると思いますが、私は「自己実現」だと考えています。【感謝】は望ましい人間関係を築いて成長し合うことになる、【希望】は頑張ろうとする意欲につながる、【くよくよしない】ことは挫折しそうなときの活力につながる、【健康】は生きる基盤となる、【行動】は実現への第一歩となる、と考え共感を得る言葉となりました。

3 第55回新春読書感想文コンクール杵島武雄地区で入賞しました

【入選】池田琢磨（3年）

【佳作】大川内順哉（2年）

4 第39回全国中学生人権作文コンテスト佐賀県大会で入賞しました

【奨励賞】東島史夏（2年）

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます

川登中学校HP・・・<http://cms.saga-ed.jp/hp/kawanobori-j/home/homeMain.do>